

統合医療施設

薬を減らしながら栄養療法へ移行
精神疾患も食事指導で改善

ナチュラルクリニック代々木(東京都渋谷区)



薬物治療の代わりに、無毒で自然な成分を使ういわゆる代替療法や栄養療法の存在は、すでに日本の消費者の間でも広く知られるようになった。患者の身体の自然な働きを損なわないこうした手法は、その細かなメカニズムがわからない人にもやさしいイメージを抱かせ、できれば利用したいと思わせる。しかしながら、現実にはすでに病気が進行しており、数種類の薬漬けで、今いきなり薬をやめればどうなるかわからないという患者も多い。

そんなジレンマを抱える人たちへの救世主になるべく、ナチュラルクリニック代々木を東京都渋谷区に開院、運営して5年になるのが、予防医学・代替医療振興協会理事長を務める医学博士、神津健一先生である。

「当院ではクスリを一切使用せず、回復に結びつけます」、「減薬指導を行います」、というのがこの一貫したやり方だ。開院当初から医療スタッフとともに力を入れてきたのは心療内科で、うつ、統合失調症、パニック障害、自律神経失調症、自閉症、ADHD、認知症など、時間をかけてすべて薬物を使わずに治療してきたという。

初診時に、すでに多数の薬を服用中の患者もいるが、まずは全身のバランス状態を調べるために患者の毛髪や爪先を使い、量子共鳴分析器(QRS)という特殊な分析器を用いて短時間のうちにその人の状態を把握する。これは、いわゆる毛髪ミネラル分析器とは違い、生体エネルギーを測定するものである。その結果から、その人の生体のバランスをゆがめているような食事や生活習慣は改めるように指導し、より良く整えるための健康食品やサプリメントを補ってもらようようにする。

薬を服用中の場合、最初は薬を減らさずに服用を続けてもらい、その後、患者の変化を見てはカウンセリングを行いながら少しずつ薬を減らし、という作業を粘り強く続けてゆく。

●服薬歴10年の患者が減薬療法で社会復帰

たとえば、高校生のときに不登校になったことがきっかけで病院から薬を処方され、20代後半でひどい倦怠感に襲われて仕事を止めざるを得なくなったという女性患者は、初診時に13種類もの薬を10年間に渡って服用中だった。

神津先生自身が開発した「K・リゾレンチン」の成分を含めて合計4~5種類の補助食品を使い、さまざまな経過をたどりながら1年3ヵ月後に薬が4種類にまで減り、その1ヶ月後によろやくすべての薬を止められるようになった。今ではアルバイトから正社員というかたちで見事に社会復帰も遂げたという。(参考:『脳内汚染・心の病を治す栄養療法』神津健一/田中路子共著、長崎出版)

「不安でいっぱい患者さんにいきなり押し付けるように治療の説明はせず、薬を使わなくても食べもので気分が自然に落ち着くことを実感してもらった方が、受け入れてもらえます」という神津先生。「現代人は、精製食品や合成添加物、残留農薬、水質汚濁、電磁波などで全身が汚染され、その毒害が脳内にまで及ぶことがあるために、脳の神経組織が異常な反応を示し、心の病に陥りやすい」と考える。化学物質で神経に異常をきたして

いるところに、さらに化学物質の薬を使っても治らないのは当然で、このことは心の病以外の病気にも当てはまるところが多い。

現在、同クリニックでは生活習慣病全般やがんに対しても同じ考え方に則って治療指導を行っており、がんの場合はビタミン C 点滴、ゲルマニウム温熱療法、超濃縮酸素療法、マイナスイオン活性療法、アポトーシス誘導療法、天然酵素反応療法などの栄養療法を基本に、さまざまな手法を組み合わせたオーダーメイド医療を手がける。また、病名が診断される前の「未病」時に対処することが一番大切と考え、身体の不調を感じる人たちの来院を歓迎し、不調の根本原因を修正できるようにサポートをしている。

■医療法人社団一友会ナチュラルクリニック代々木

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-21-6-7 階

TEL : 03-5363-1481

FAX : 03-5269-6540

<http://www.natural-c.com>

NPO 法人予防医学・代替医療振興協会

TEL : 03-5269-1731

FAX : 03-5269-6540